

先生のための「夏休み経済教室」

2026. 8. 13(大阪)、8. 19(東京)

高校版「シン経済教育」実践発表

社会のあり方を考える生徒を 育成する経済学習 —生活実感から本質へのアプローチ—

東京都立新宿山吹高校 杉浦 光紀

発表の内容

1、授業づくりに向けて

—提案を教師として、どのように解釈したか

2、授業の設計

—提案の何を活かして、どう授業に落とし込んだか

3、授業の実際

—どのような様子や反応を生徒が見せたか

4、授業の結果

—生徒の記述からどんな変化が読み取れるのか

5、授業の意義と今後の実践に向けて

—経済学習としての意味はどこにあるのか

本校の特色

単位制・無学年制の定時制課程

(1年目から科目履修登録＝自分で時間割をつくれる学校)

提案

- 2025年8月19日 先生のための夏休み経済教室(東京)
“わかる「公共」:経済授業の目次を組み替える” 篠原 総一 先生
- その後の検討 佐藤 英司 先生 「公共」10講 見取り図
新井 明 先生 授業プランv9(中学版・高校版)
金子 幹夫 先生 新聞教育推進協会 発表(26.3.30)

実践への示唆

- 選んだテーマ「つながり」「信頼とお金」
ア. 経済(学)を覚えましょうではなく、**社会の見方(本質)**に気づかせる。
イ. 「見えるもの」から「**見えない(見えにくい)もの**」へと思考を進める。
ウ. (本実践)経済のあり方や**つながり**、**信頼**という土台に迫る。

授業実践

- 科目「公共」 授業時間:100分(うち5分休憩) 年次:1年目~4年目まで
- 2026年7月3日 授業実践①、6日 授業実践②③、7日 授業実践④⑤
5クラスのうち、主として授業実践⑤(11名)の様子を取り上げる。
授業の内容・方法、生徒の学びを明示し、経済学習としての可能性を探る。

経済分野 10講 との関係

講	主な問い	最低限の持ち帰り
第1講	当たり前の暮らしは何に支えられているか	暮らしは複数の仕組みに支えられている
第2講	商品やサービスはどう作られ、届くのか	分業と交換によって生産が成り立つ
第3講	知らない人とどう取引できるのか	貨幣, 決済, 契約, 信頼が取引を支える
第4講	競争はなぜ必要で、なぜルールも必要か	競争には利点があるが、ルールも必要である
第5講	消費者はなぜ守られる必要があるか	買い手と売り手には情報や判断のしやすさに差がある
第6講	働くことはどう位置づくのか	労働は所得を得る手段であり、生活の土台でもある
第7講	採算がとれないサービスをどうするか	採算だけでは判断できない公益サービスがある
第8講	個人任せでは足りないものは何か	みんなに必要でも、個人任せでは不足するものがある
第9講	人生のリスクをどう支えるか	病気, 失業, 老後などには保険や社会保障が必要になる
第10講	社会全体のバランスをどうとるか	個人にとって合理的でも、社会全体では問題が起こることがある

今回の
授業実践

佐藤英司先生
資料より

経済分野 10講 との関係

第2講: 生産者間のつながり

商品やサービスは、どのように生まれ、私たちの手元に届くのか

- 綿花・化学繊維・デザイン・縫製・輸送・販売網・決済までをたどる
- 分業・交換・グローバルサプライチェーン
- 発展論点: 利便性の背後で、労働や環境負荷はどこに生じるか
→ 現状の利点と問題点もあぶりだす

身近な商品は、世界中の人々が役割を分担し交換することで私たちの手元に届いている

- ケーススタディ(暮らしから問う)
フリマアプリの取引、仕組み

- 本質的な問い

なぜ、見知らぬ人と取引できるの？

「目に見えるもの」だけでなく、
「見えないもの」へ。そして「信頼」。

- 身近な問い

カレーライスに関わった人は？

(中学版授業プランの問いをヒントに)

- 「つながり」へ着目させる。
- 労働や環境負荷は今後実施する。

第3講: 取引を支える信頼

知らない人や海外の相手とも、なぜ取引できるか

- 海外の人と取引しようとする、通貨や送料、決済が課題になることに気づかせる
- 貨幣・信用(信頼)・決済システム・評判
- 信頼を個人ではなく、制度や仕組みが支えていることを理解させる

お金・決済・評価・補償の仕組みがあるから、
知らない人や海外の相手とも取引できる

授業設計
テーマ：「経済」
を考えると？

中核概念
つながり
信頼

実施：前半50分
後半45分

展開	授業の問い
導①	経済とは【 】である。【 】に入る言葉または文章を入れよう！
展①	◇お店で食べたカレーライスに関わった人は何人でしょう。5人、50人、500人？
展②	◇フリマアプリのケーススタディ「(10万)円の(高級鍋)が偽物だった」 トラブルが起きないようにアプリの「ルール(制度)」をどう作り変えたらよいか？
展③	なぜ見知らぬ人と取引(交換)ができるのでしょうか。そのために必要なものは？
ま①	「フリマアプリは〇〇である」 4つの視点の動詞を参考に考えてみよう！ 市場経済: つくる・売り買い・働く 人間生活: 生きる・学ぶ・備える インフラ: 運ぶ・つなぐ・届ける 経済社会: ルール・守る・支える
導②	社会を考えるためのキーワードは？ 希少性→効率→交換・分業→つながり→信頼→不公正
展④	フリマは物々交換ではいけないのだろうか？ ミニレク: 貨幣の機能
展⑤	◇1万円札は紙だ。なぜ食べ物を買えるか？ ミニレク: 貨幣論＋中央銀行の役割
展⑥	新聞記事から読み取ろう。4つの視点やキーワードがどのように関わっているか？
ま②	振り返り: 経済とは【 】である。①【 】の理由 ②社会の見方や考え方の変化

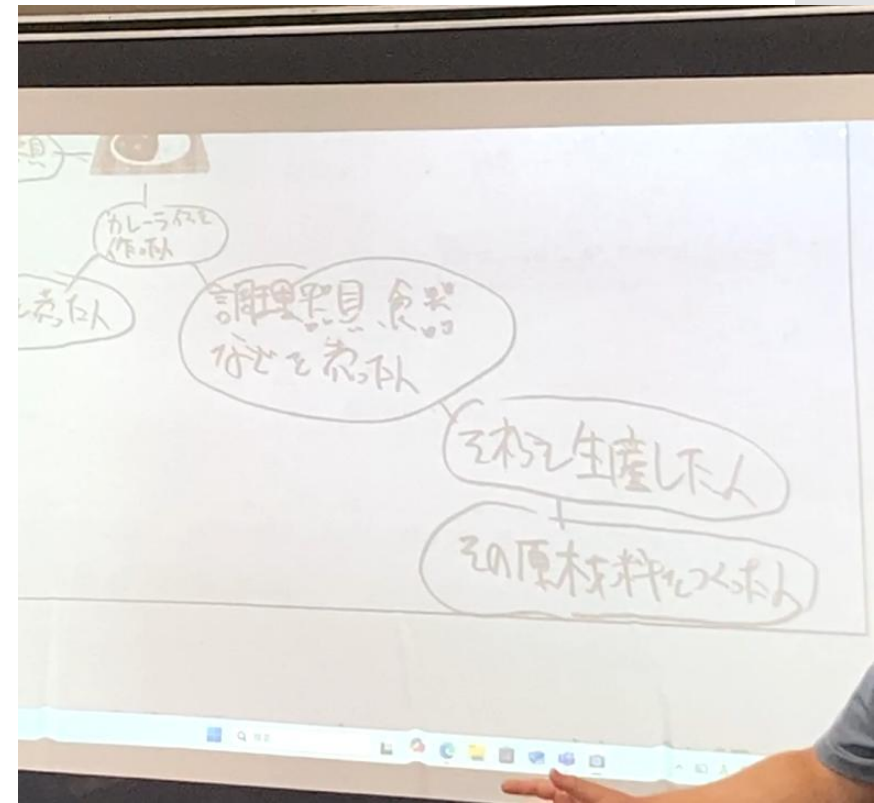
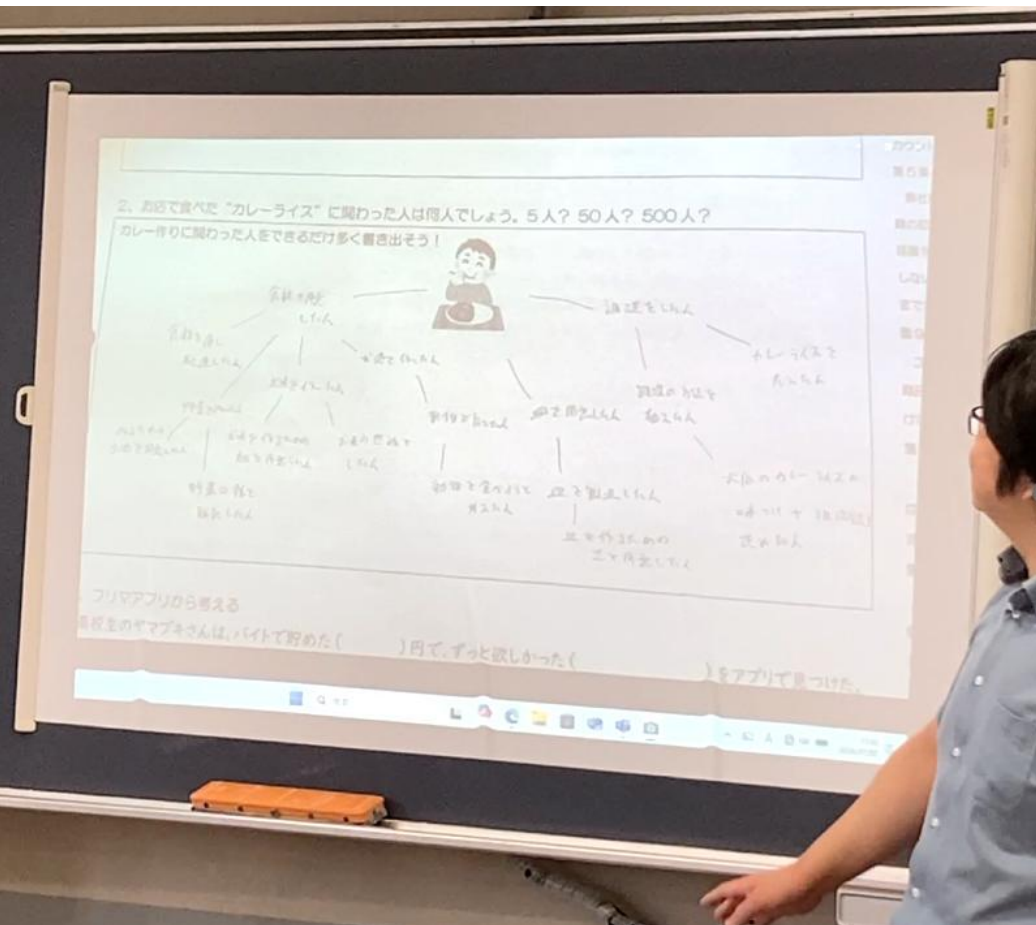
◇の付いた問いは、「授業プラン」やAI生成のケーススタディを参照・改作

授業の実際

展開①: お店で食べたカレーライスに関わった人は何人でしょう？

- 個人で3～4分ほど考え、ペアで関係図を共有させる。
- 生徒のプリントを撮影し、スライドに投影する。どのように考えたのかを3名に説明させる。4分程度だった。
- 生産に何が必要なのか、誰がつくったのか、そのために必要なものは・・・とつないでいくとよい。
- 生徒が説明する部分を拡大して提示するとわかりやすい。
- スパイスなど海外輸入品、配送ための道路、水道などのインフラ、食材以外への波及は確認しておきたい。

- 関わった人数の答えが目標ではなく、その広がり気づかせる。カレーライスの発明などにたどり着く生徒もいる。
- 想像できない生徒には、ネット検索を補助として利用すること。
- なぜ、分業・交換が行われるのか、に議論を進めることもできる。



授業の実際

展開②:トラブルが起きないようにアプリの「ルール(制度)」をどう作り変えたらよいか？

- フリマアプリのイメージがない生徒を想定し、ネットのページを写真で紹介する。
(ほぼ全員が「知っている」が、「使ったことがある」という生徒は少数)
- 5分ほどでケースを読み取り、ルールの考察をする。
- 生徒のアイデアを取り上げたり、規約の一部から「本人認証」「商品説明」等の証明、「トラブル対応」(補償)や「相互評価」などの仕組みを紹介したりする。

展開③は次ページ

3、フリマアプリから考える

高校生のヤマブキさんは、バイトで貯めた()円で、ずっと欲しかった()をアプリで見つけた。相手は顔も知らない県外の人物。不安だったが、アプリの「匿名配送」と「事務局が一旦お金を預かる仕組み」を信じて購入ボタンを押した。

しかし、届いたのは偽物だった。ヤマブキさんは納得がいかず事務局に訴える。一方、出品者は「発送時は本物だった。すり替えられたのはこっちだ!」と主張。

さらに、このアプリの「決済システム」を提供している銀行から、「トラブルが多いなら決済サービスを停止する」と警告が届いた。二度とこうしたトラブルが起きないように、アプリの「ルール(制度)」をどう作り変えたらよいか？

問題点	対応策

まとめ①:「フリマアプリは〇〇である」
4つの視点の動詞を参考に考えてみよう！

- 考察させて、生徒の発言を取り上げる。
- 4つの視点のどれに着目したのか、視点の重なり合いに着目させつつ、前半のまとめとする。

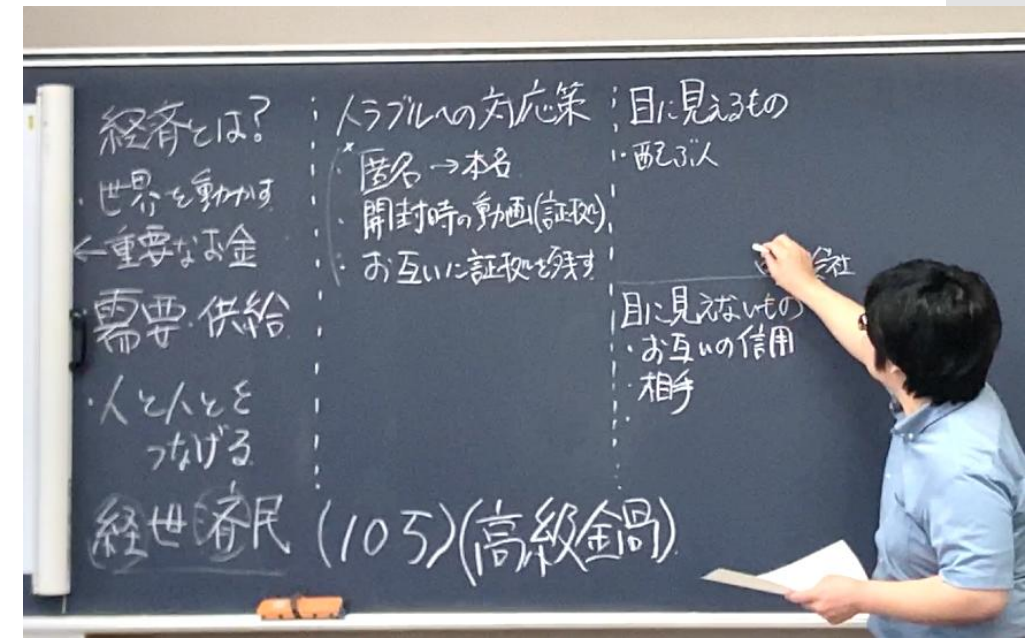
授業の実際

展開③:なぜ見知らぬ人と取引(交換)ができるのでしょうか。
そのために必要なものは？

- 個人でまずは2分ほど考えさせる。生徒を指名して黒板に書き出していく。
 - テンポよく答えさせることを意識した。6分程度だった(オンライン上での集約も方法)。
 - 目に見えないものの多さ、「信用や信頼」という発言を引き出す(出なければ、「他のクラスでは…」)。
 - 商品の正確な情報・状態に関する生徒の発言に着目し、「情報の非対称性」に気づかせる。
 - 市場経済の歴史的な成立に関わる「所有権」など、補足説明したい内容が出る場合がある。
- すべてをこのタイミングで説明するのではなく、今後の授業で扱うことを予告するなどの対応も。

生徒が考えた取引に必要なもの(まとめ)

目に見えるもの	運ぶ人、スマホ、サーバー、アプリ、商品説明(写真)、値段、契約書、レビュー、評価・実績、本人確認、取引履歴、価格、連絡 等
目に見えないもの	相手、相手の顔、電波、リスク、ペナルティ、所有権、信用、信頼、会社、実際の商品(状態)、個人情報、お金の流れ、経験、リテラシー、決済サービス、サイト運営・開発者、通信インフラ、システム 等



板書 (前半)

経済とは?

・世界を動かす
←重要な金

需要・供給

・人と人をつなげる

経世済民

トラブルへの対応策

- ・^{*}匿名 → 本名
- ・開封時の動画(証拠)
- ・お互いに証拠を残す

情報の非対称性

目に見えるもの

- ・西乙子人
- ・商品の値段(写真)
- ・スマホ
- ・いつ届くか (中継会社)
- ・目に見えないもの
- ・お互いの信用・信頼
- ・相手・インターネット
- ・商品の状態
- ・身分・システム

フリマアプリは

・^市 ...
・売り買いのルール
・勉強して ^経
・商品を売る
・入札もの

(105)(高級金鍋)

板書 (後半)

キーワード

希少性 → 効率 → 交換・分業

→ つながり → 信頼 → ^{それでも完全にはなくなる}不公平(不正)

(サプライチェーン)

中央銀行
(券銀行)

(銀行の銀行)

(政府の銀行)

貨幣の役割

(価値尺度)

(交換・支払い手段)

(価値貯蔵手段)

- これまでの授業で触れたことに関連付けつつ、後半の冒頭でキーワード（概念）を確認した。
- () は、プリントの穴埋めである。

授業の実際

展開④:フリマは物々交換ではないのだろうか？

- 「当たり前」への揺さぶりで、思考を促して「生じる問題」を考察させる。
- 交換の難しさや価値尺度の問題について言及する生徒が多い。
- 生徒の発言と結びつけ、教科書の「貨幣の機能」を説明する。

展開⑤:1万円札は紙だ。なぜ食べ物を買えるか？

- さらなる「当たり前」への問いから、貨幣の不思議さや価値・流通の問題へ。(岩井克人の貨幣論も参照)

お金の価値を定めているのは？

- ①モノ（金貨の場合、貴金属の金（ゴールド）の価値による）
- ②国家（国が法律で1万円には1万円の価値と決める）
- ③社会（他の人がそれを1万円と認めるから1万円になる）

なぜ、流通できるの？

- ①貨幣商品説（特別な商品）
- ②貨幣法制説（共同体の取り組め）
- ③自己循環論法説（貨幣は貨幣だから）

- 平賀緑『お金儲けしない経済学』の一節(pp.126-7)を引用して貨幣の現代的な理解を紹介する。
フェリックス・マーティンに依拠して、お金とは、思想や習慣(後で使える価値があるという「信用」)
価値の単位を提供し、取引を記録する会計システムにより、他者に譲渡可能にする社会的技術 と整理されている。
- 教科書の事項として、中央銀行(日本銀行)の役割についても説明する。

授業の実際

展開⑥:新聞記事から読み取ろう。

4つの視点やキーワードがどのように関わっているか？

記事	フィジカルAIに10.5兆円（6月20日）
内容	AIを用いてロボットを自律的に動かす「フィジカルAI」に40年までに10.5兆円投資
視点やキーワードとの関わり	
工場の自動化や無人運搬などでインフラや市場経済が効率がよくなり豊かになる。一方で長期プロジェクトへの企業との信頼が必要だと思った。	

記事	ガスタービンに1000億円超（6月28日）
内容	三菱重工が大型のガスタービンの生産能力を2倍に引き上げる
視点やキーワードとの関わり	
ガス火力発電所で生み出す電力の希少性。ガスタービンで生み出した電力をAIデータセンターが利用する(つながり)。タービンの生産能力を効率化によって倍増させる。	

記事	新薬生む新種ラッシュ（6月7日）
内容	新種がみつかって、新しい薬の開発が進んでいる
視点やキーワードとの関わり	
新種生物の発見が増えていることで、新しい薬の開発が進んでいる（土壌中の新種の菌からつくられたイベルメクチンなど）。また新種を発見するための「DNAバーコーディング」という技術やそれを支える「BOLD」データベースを運営するカナダのゲルフ大学などが関わっていて、分業をかんじた。	

記事	ヤマダ・エディオン統合へ2.5兆円 連合持ち株会社軸に
内容	ヤマダとエディオンが経営統合。共同でプライベートブランドの開発
視点やキーワードとの関わり	
激しい競争を勝ち抜くため、2社が協力して商品開発を行う「分業や効率」の動きが書かれている。また、他者への対抗として「つながり」を強める戦略と分析できる(かも?)	

- 新聞(1カ月分)から1部をとって、気になる記事をまとめ、自分の意見を書く学習に普段から取り組んでいる(NIE:教育に新聞を)。
- 今回は、日経新聞を教室に持ち込んだ。
- 記事を「4つの視点や6つのキーワード」とどう関わっているかを考えて書くように指示。
- 時間があれば周囲の人と、自分の記事内容・分析を紹介し合う。
- 「振り返り」と合わせて15～20分は必要。
- 記事の「感想」でなく、経済事象の「効率」「つながり」「信頼」「分業」などに着目した記述がみられた。(左掲)
- 自分で探すのではなく、教師がいくつか記事を指定して、考えさせることもできる。

授業の結果

振り返り:経済とは【 】である。【 】に入る言葉や文章は？

①【 】の理由 ②社会の見方や考え方の変化

生徒	初定義	再定義	再定義の理由(授業の最初と最後の比較)	見方や考え方の変化(授業で考えたこと等)
A	？	信用と信頼	個人の間でも企業の間でも交換や分業、お金の流れを作っているのはお互いの信用と信頼だと思った。	貨幣の価値はみんなが信用しているから成り立つということはみんなが信用しなくなれば価値は成り立たないということなので思っていたよりも絶対的ではなく不安定なんだなと思いました。世界のほとんどが信用しているドルはすごいなと思いました。
B	？	人と人をつなぐもの	最初は経済はお金だけが重要だと思っていたけど、一つのものに数多くの人に関わっていたり、取引は相手との信頼が大事だと学び、お金を通じて人が関わる機会を経済がつくったと。	社会は、人やお金、ものなど様々なものから形成されているから、社会をよくしていくためには時間や労力がたくさんかかると、改めて分かった。
C	？	信頼	モノを売買する時に相手を信頼したり、自分が信頼されていないと取引がうまくいかないし、逆に信用を得ると取引が楽になるから。	最初は「経済とは」の質問が理解できず、なにもかできなかったが、授業で色々な事を聞く内に、自分の中で結論が出せたのでとてもすっきりした。
D	よくわからないもの	人と社会をつなぐ架け橋	4つの視点から人と社会を繋いでいると感じたから。	経済と聞くと難しそうというイメージがあったが、あと2年後には成人なので、少しは理解できるようにしていきたいと思うようになった。

生徒のもつ経済に関するイメージに、どのような影響が生じたのか？

- 「経済とは」を最初表現できなかった生徒は、授業で扱った「つながり」「信頼」を強く意識して再定義した。
- 授業前から経済のイメージがある生徒(次ページ)は、「お金」「循環」「動かす」での初定義がやや多い。
- イメージのあった生徒も、生活や本質への理解を踏まえて、意味内容を豊かにして改めて定義していた。

授業の結果

振り返り:経済とは【 】である。【 】に入る言葉や文章は？

①【 】の理由 ②社会の見方や考え方の変化

生徒	初定義	再定義	再定義の理由(授業の最初と最後の比較)	見方や考え方の変化(授業で考えたこと等)
E	お金を循環させるもの	お金を循環させるもの	売買などを通じて世界中の人々のお金が循環していると思ったから。	カレーライスのように、1つのものでも数えきれない人びとが関わっていることにおどろいた。
F	お金の動き	いろいろな人たちが信頼し合ってこそできるつながり	信頼があってこそ、貨幣に価値が生れたり、商品の売買ができると思った。	人々のつながりが果たす役割について、経済を通じて学べた。
G	世界を動かすための重要なお金に関すること	皆の信頼で成り立っている、日本の生活に欠かせないもの	実際、信頼がないと経済は成り立たない、という事を今日の授業を学んだから。そして、お金については生活をしていくうえで最も大切だと考えたから。	最初は経済は政治家間の内容だと思っていたが、ちゃんと国民も関係していて、国民にとっても重要なことだと分かった。
H	需要と供給	信頼	お金や価値などはすべて信頼で成り立っているから、「需要と供給」は構造的な話で、経済の核ではないと思った。	信頼や信用で社会は成り立っていると思った。信用を無くすと人間社会で生きて行くのは難しい。
I	人と人を繋げるもの	個人を社会的に繋げ、より豊かな営みを実現する基盤	競争や問題はあれど、豊かな営みを実現していると思った。	自分も経済の一端をになっていると感じた。
J	国	国の健康状態	経済が苦しくなると、国も苦しくなるし、良いと国はうるおって発展できる。経済の状況は国のよゆうにつながると思ったため。	経済は国にとっての何であるかを言語化できるようになった。お金があるおかげで、ちゃんとした取引ができてると感じて、お金のいだいさを感じた。
K	進歩	不確実	最初に書いた進歩という言葉は昔の経済から今の経済への変化を記したものだだったが、授業の中で「信頼」や「価値を定めているもの」などで今も昔も不確実で安定していないのは共通していると思った。	お金の価値について、そのものに価値をおくよりも信頼に重きを置いているように感じた。そのものに価値をおかないのはなぜか、と考えることもあったが、人間の深いところの考え方からつながっているのかもしれないという結論になった。

他クラスでも...

社会の見方・考え方に、どのような変化が生じたのか？

- 自己と社会との関わり、社会のあり方等を強く意識する傾向があった。
- 現実の経済を事例に、理解を深める生徒もみられた。

見方や考え方の変化(授業で考えたこと等)	思考の種類
社会の物事にはどんなものでも無数に関わっている人がいて、ほりさげるほどさらに人ができてくることが分かった。自分はその無数の人たちのおかげで生きているし、もしかしたら知らないうちに自分も社会に関わっているのかもしれないと思った。 社会ってむずかしいんだとおもっていたが、経済などを通じて、私たちもかかわっていてふくざつだけど難しいものではないと思えた。 あまり人と関わらずに生きてきたと思っていたけれど、今日授業受けて、知らない多くの人たちと関わって生きていると知った。	社会との関わりの自覚
フリマアプリが成立しているのは意外とすごいことなんだと分かりました。一つの物にたくさんのかかわっていて、安い商品はどうやって利益を生み出しているのだろうと疑問に思いました。 社会では共通のもの、または情報が日々飛び交う故に社会が成り立ち、社会という1つのまとまりで動くのだと気がつきました。人の認識によってつくられた社会にAIが参入した時、社会はいつ社会でなくなるのでしょうか？	社会への問いの生成
社会は確実なもので人によって変わらないことを重要としているように思っていたが、信頼という人の感情が繋いでいるものもあることを知って、社会は確実なルールや制度だけでなく不確実な感情でも動かせるという考えに変化した。 難しい言葉やシステムに飲まれそうになるけれど、経済におけるどんなことも誰かが必要だと気づいて構築されたものなんだろうと思うようになった。	社会の構築性への気づき
お金の価値を定めているものについて、国家が定めているからだろうと思っていたものの、授業を経て、社会の人々がお金の価値を認めてるからやPayPayなどの電子マネーが普及している現状には、法制説よりも社会が定めているという考えの方が腑に落ちた。 最近、株に興味があり、時々レートを見ていましたが、まったくもって動きの予測ができませんでしませんでした。が、今回の授業で様々な場所で、様々なものがつながっており、納得しました。今後は、もっと広い視野をもって注目していきたいと思いました。	社会に対する理解の深化

※社会への理解や思考の変容がみられる記述を抜粋

授業の 意義

- 新たな経済学習としての意義
 - ① 経済原理を上から教え込まず、社会に対する生徒の「思考の広がり」を活かせる。
 - ② お金を主語とする理解ではなく、「人間同士でつくる仕組み」の理解につながる。
 - ③ 生活実感から本質をとらえ、「社会との関わり」の認識や「問い」が生じる。
- 「私たちの暮らしをみんなで支え合う社会の仕組み」としての経済を学び、
「社会のあり方を考える生徒」を育成する授業になる！！

今後に向けて

- 新たな経済学習としての可能性
 - ① 経済分野の重層的な内容を同じ「視点」と「概念」を使って教える。(一貫性)
 - ② 教えた内容(教科書の事項、時事など)は、「問い」と「問い」の間に組み込む。(拡張性)
 - ③ 新古典派よりも幅広い経済の見方、社会の考え方に通じる。(革新性)
- これからの授業づくり

今回は、経済分野の導入段階で、2コマだけの授業実践を試行
→経済分野の後半は、現在の経済や社会制度の是非を問う展開にしていく。
制度的信頼の拡大とそのメカニズムを分析する授業は、他分野にも応用できる。
これまでの実践と組み合わせ、生徒のもつ社会経済像への影響を今後も検証したい。